

輸出事業計画

申請者名：有限会社南橋商事 品目：さつまいも（生芋・加工品）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

令和元年度の鹿児島県におけるさつまいもの産出額は272億円であり、畜産を含めた県全体の農業産出額（4,890億円）の5.6%を占める基幹作物の1つである。しかし、当社がある大隅地区においては基腐病を機に廃業する生産者もあり、さつまいも生産者にとって厳しい環境である。一方で、輸出については「焼き芋」の認知度が急速に広まったこともあり、東南アジアを中心に輸出が急拡大している。2020年度の輸出額は約22億5千万円と10年前の19倍超になっている。

当社は、新規市場の開拓、収益向上が可能な地域を検討していたところ、現地からの引き合いがあり、2016年度より輸出に取り組んでいる。現地バイヤーの信頼を得るために品質向上が必要と考え、適切な選果や貯蔵処理、輸送温度の設定などの対策を行ったところ、腐敗率も減少し、タイ、シンガポール、マレーシアなど取引量が増えてきている。また、2020年度にカナダから引き合いがあり、輸出を開始している。さらに、アメリカのスーパーマーケットチェーンより加工品としての「焼き芋」の引き合いが来ている。北米市場は所得水準が高くマーケットが大きいので、当社輸出事業の軸として期待している。

【課題】

生産	流通・加工	商品開発・販売
1 需要に応える生産量の確保	1 貯蔵庫の確保	1 アメリカ向け焼き芋商品開発
2 国際認証の取得ニーズの高まり	2 商品差別化	2 海外マーケット情報の入手
3 基腐病対策	3 国際認証取得済み加工工場への生産委託【アメリカ向け】	
4 作業場の規制対応【タイ向け】		

2. 輸出事業計画の取組内容



生産

1. 当社と同じ品質基準で栽培できる契約農家開拓
2. 自社圃場のグローバルGAP認証の取得
3. 農研機構や農薬会社との連携による実証実験
4. 洗浄済み・土付き商品の保管場所を分別するための作業場改修

流通・加工

1. 自社倉庫の建設
2. 地域ブランド「かのや紅はるか」の活用
3. FSSC22000を取得している加工工場への生産委託

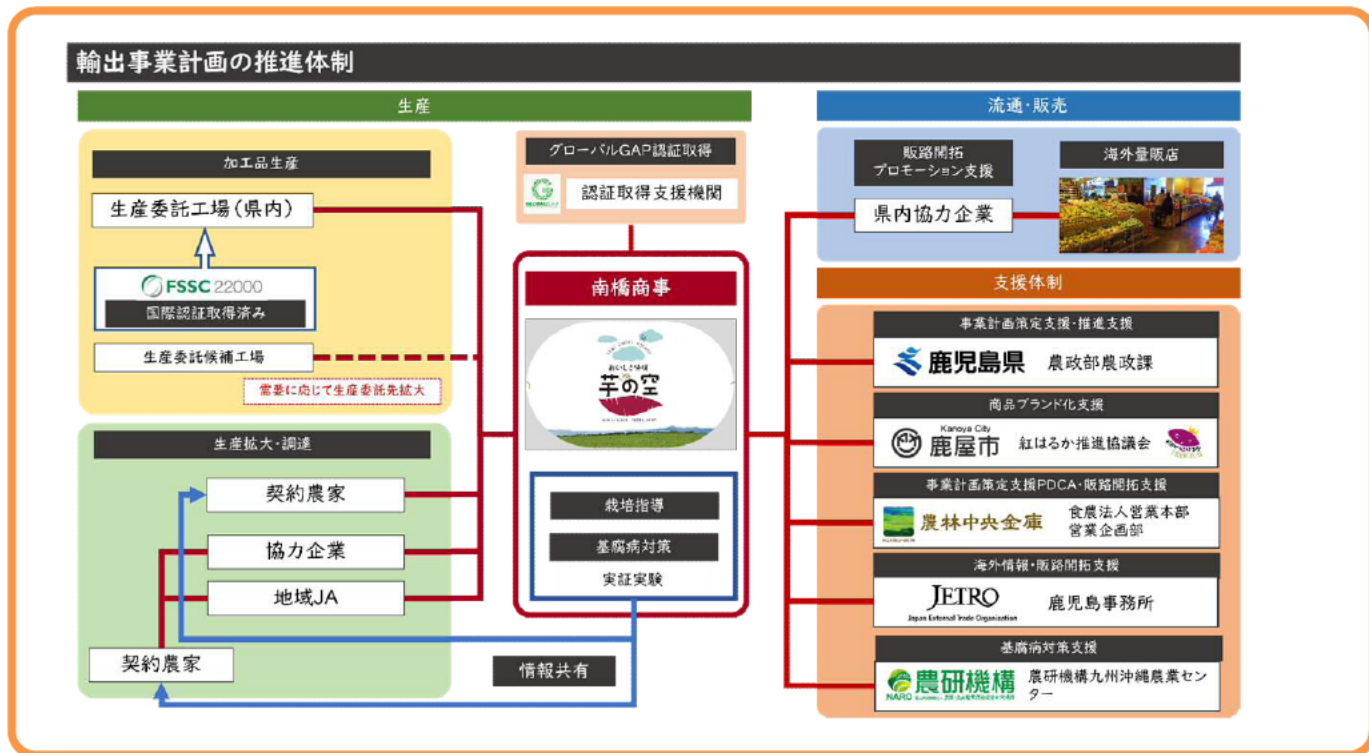
商品開発・販売

1. 協力企業を通じて、現地での試食会やバイヤーの意見を汲み上げた商品開発の実施
2. 海外拠点があるJETRO、農林中央金庫などの支援による海外マーケット情報の収集

輸出事業計画

申請者名：有限会社南橋商事 品目：さつまいも（生芋・加工品）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標

2025年度（令和7年度※1）目標：さつまいも 510 t
加工品 100 t

高品質・安定した商品提供により東南アジア及びカナダの輸出を伸ばしていく。また、加工品としての「焼き芋」商品開発を進め、令和4年度にアメリカ市場参入を目指す。

※1.令和7年7月-翌6月

